
記憶姿

嘩月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
記憶姿

【Nコード】
N1562J

【作者名】
嘩月

【あらすじ】
-
-
-
-
-
-
-

君の後ろ姿ばかり見ていた
振り返る度に笑顔が零れた
ずっと一緒に歩いていたのは 僕の最初の記憶

笑顔が溢れてた 二人の帰り道
分かれ道の別れ際で 解らないフリしてた僕の気持ち
いつまでも 燻っていた
いつか君の元へ……

痛い程鳴いて心の臓 「自分に正直に……」

辛いから泣いた深夜 「遅かった自分が……」

青い日々暗い真の闇 「後悔後先立たず……」

『脳内洗脳影響体廃、精神情況徘徊症』

ずっと 褪せた卒業写真を覗き込んでた
思い出を嫌いになれない弱すぎた心 今も痛いと鳴く
君の昔姿ばかり見ていた
振り返る度に涙が零れた

ずっと一緒に歩いていたのは 僕の最後の記憶

疼く喉鳴いて心の臓 「もう戻れない……」

赤い目で泣いた深の夜 「虚しく残る……」

暗い過去見ては滲の病 「いつまで後悔の日々……」

いつまでも燦る想い 泣き出す度酷くなって
一人になって 一人に馴れたはずなのに
まだ…… また零れた

ずっと 見てた卒業写真をしまい込んでた
思い出を嫌いになれない弱すぎた心 今は前を見てた
君の記憶姿ばかり見ていた
振り返る度に想いが零れた
もう一緒に歩いていくのは これが最後で……

僕の記憶君が全て占めてた

振り返る事で君だけが居てた
でも一緒に歩いていけない
これが最後の追憶

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1562j/>

記憶姿

2011年10月9日23時27分発行